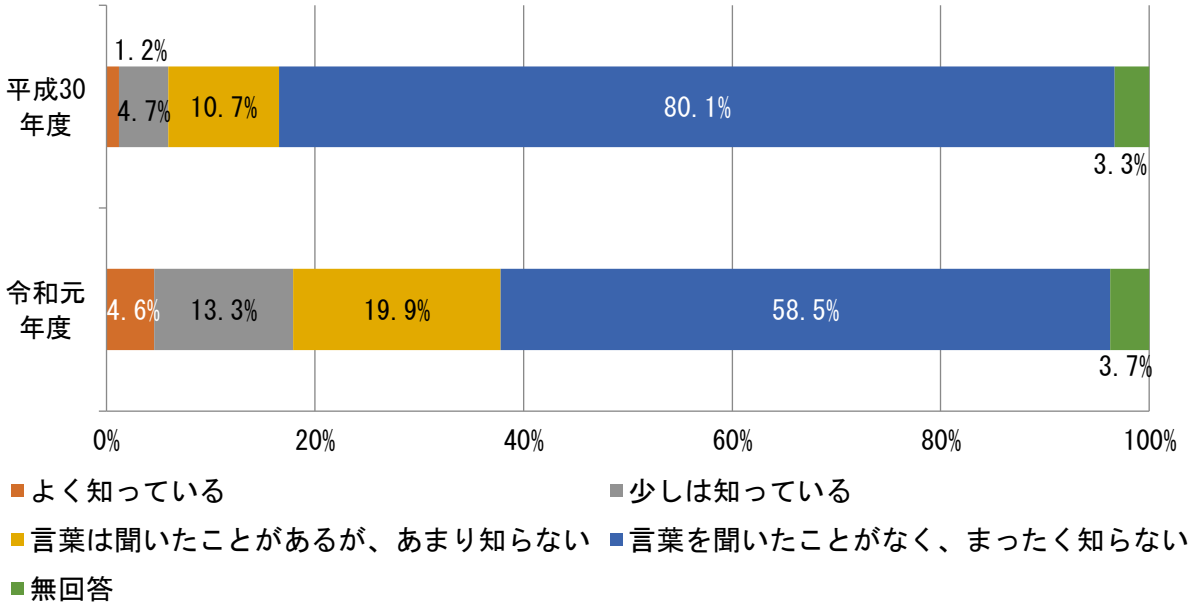
■「ＳＤＧｓ」について

問３２.「ＳＤＧｓ」について知っていますか。（１つだけ）

「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」が 58.5%と最も高く、次いで、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」が 19.9%、「少しは知っている」が 13.3%となっている。

前回調査と比較すると、「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせたＳＤＧｓの認知度は 17.9%となり、平成 30 年度の 5.9%から 12.0 ポイント増加している。なお、前述に「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」を加えた、ＳＤＧｓという言葉を知っている割合は 37.8%となり、平成 30 年度の 16.6%から 21.2 ポイント増加している。

また、「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は 78.4%となり、平成 30 年度の 90.8%から 12.4 ポイント減少している。



【回答者の属性別にみた結果】

年代別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は 20 歳代が 21.3%と最も高く、次いで 30 歳代（20.9%）、40 歳代（20.7%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は 80 歳代が 80.6%と最も高く、次いで 60 歳代（80.0%）、50 歳代（79.4%）となっている。

職業別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は公務員が 42.6%と最も高く、次いで学生（28.6%）、会社員（19.2%）となっている。

一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は自営業が 91.4%と最も高

く、次いでその他（83.0%）、会社員（79.5%）となっている。

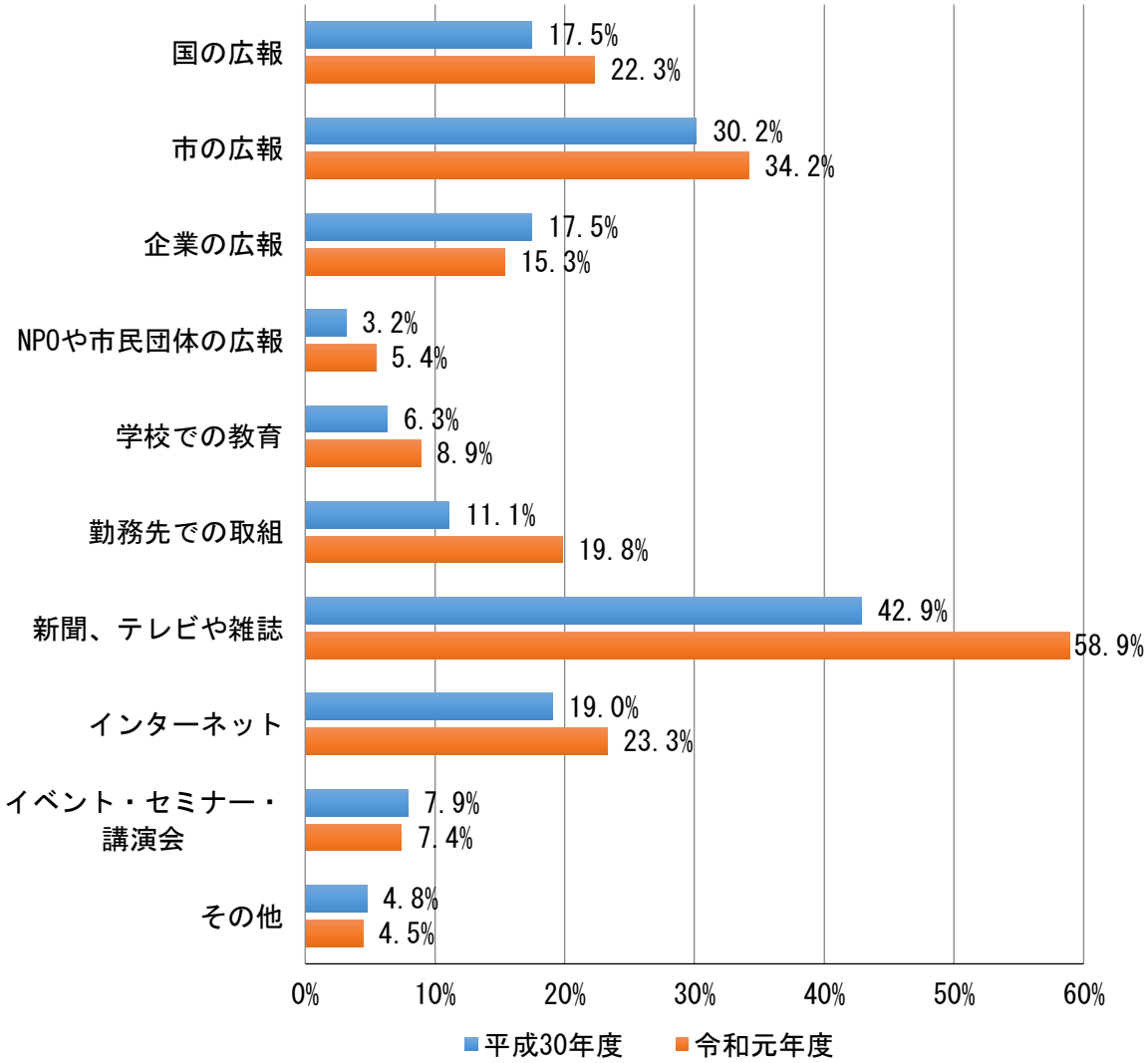
地区別：「よく知っている」、「少しは知っている」を合わせた割合は北区が22.3%と最も高く、次いで中央区（19.6%）、南区（16.7%）となっている。
一方で「言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない」、「言葉を聞いたこともなく、まったく知らない」を合わせた割合は東区が82.2%と最も高く、次いで西区（81.0%）、中央区（77.7%）となっている。

■属性別回答

	合計	よく知っている	少しは知っている	言葉は聞いたことがあるが、あまり知らない	言葉を聞いたことがなく、まったく知らない	無回答
全体	1,130	4.6%	13.3%	19.9%	58.5%	3.7%
年齢別						
20歳代	80	8.8%	12.5%	16.3%	62.5%	－
30歳代	144	3.5%	17.4%	15.3%	63.2%	0.7%
40歳代	193	4.1%	16.6%	20.7%	58.0%	0.5%
50歳代	184	8.7%	10.3%	18.5%	60.9%	1.6%
60歳代	220	5.5%	10.5%	22.7%	57.3%	4.1%
70歳代	191	1.6%	14.7%	24.6%	50.8%	8.4%
80歳代	93	1.1%	8.6%	12.9%	67.7%	9.7%
職業別						
会社員	375	6.1%	13.1%	16.0%	63.5%	1.3%
自営業	82	2.4%	4.9%	32.9%	58.5%	1.2%
農林漁業	12	－	16.7%	33.3%	41.7%	8.3%
公務員	82	14.6%	28.0%	20.7%	36.6%	－
学生	14	14.3%	14.3%	－	71.4%	－
無職	396	1.5%	12.6%	20.2%	58.3%	7.3%
その他	141	5.0%	10.6%	20.6%	62.4%	1.4%
地区別						
中央区	260	5.4%	14.2%	20.4%	57.3%	2.7%
東区	276	3.3%	12.0%	22.1%	60.1%	2.5%
西区	142	2.1%	14.1%	19.0%	62.0%	2.8%
南区	216	5.6%	11.1%	16.7%	60.2%	6.5%
北区	198	7.1%	15.2%	18.7%	57.1%	2.0%

問３２－１．（問３２．で「よく知っている」又は「少しは知っている」と答えられた方）言葉を知ったきっかけは何ですか。（複数回答可）

問３２．で「よく知っている」又は「少しは知っている」と回答した 202 人については、「新聞、テレビや雑誌」が 58.9%と最も高く、次いで「市の広報」が 34.2%、「インターネット」が 23.3%となっている。



【参考】

【その他について】

- 北部中学校校区に居住しており、学校活動（ESD）で知った。
- 仕事の取引先が取り組んでいた。
- カラーホイールバッジを見て調べた。
- 廃棄物処理の会社で勤務している友人から教えてもらった。
- 自身が参加するボランティア活動

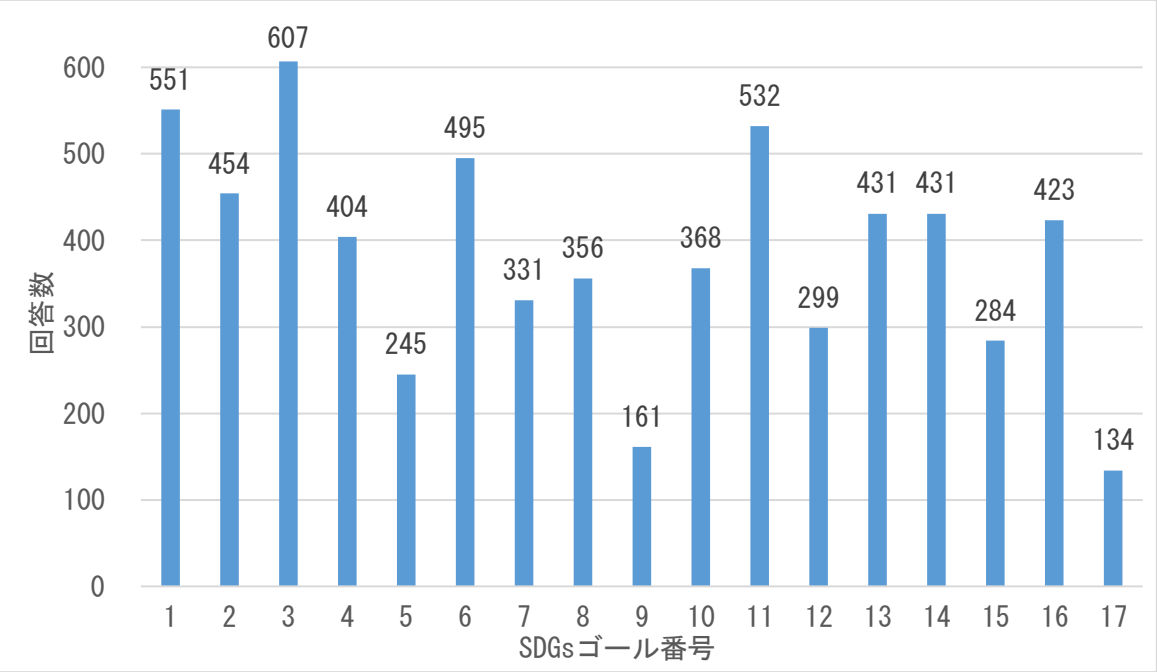
■属性別回答

※母数が少ないため分析は行わないが、結果は以下に示すとおりである。

	合計	国の広報	市の広報	企業の広報	NPOや市民団体の広報	学校での教育	勤務先での取組	新聞、テレビや雑誌	インターネット	イベント・セミナー・講演会	その他
全体	202	22.3%	34.2%	15.3%	5.4%	8.9%	19.8%	58.9%	23.3%	7.4%	4.5%
年齢別											
20歳代	17	11.8%	23.5%	11.8%	―	29.4%	29.4%	41.2%	11.8%	5.9%	5.9%
30歳代	30	16.7%	26.7%	6.7%	6.7%	10.0%	23.3%	40.0%	30.0%	10.0%	3.3%
40歳代	40	17.5%	20.0%	15.0%	2.5%	17.5%	25.0%	60.0%	30.0%	7.5%	5.0%
50歳代	35	25.7%	31.4%	22.9%	5.7%	5.7%	34.3%	57.1%	25.7%	2.9%	8.6%
60歳代	35	34.3%	34.3%	20.0%	14.3%	2.9%	11.4%	74.3%	25.7%	17.1%	2.9%
70歳代	31	22.6%	61.3%	6.5%	―	―	―	64.5%	12.9%	―	3.2%
80歳代	9	11.1%	55.6%	11.1%	―	―	―	77.8%	11.1%	―	―
職業別											
会社員	72	19.4%	19.4%	20.8%	6.9%	9.7%	34.7%	51.4%	25.0%	12.5%	4.2%
自営業	6	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	―	16.7%	100%	50.0%	―	―
農林漁業	2	50.0%	50.0%	―	―	―	―	100%	―	―	―
公務員	35	17.1%	31.4%	5.7%	2.9%	17.1%	20.0%	57.1%	25.7%	―	8.6%
学生	4	―	25.0%	―	―	50.0%	―	50.0%	50.0%	―	―
無職	56	23.2%	55.4%	8.9%	1.8%	3.6%	―	69.6%	14.3%	3.6%	3.6%
その他	22	36.4%	27.3%	22.7%	9.1%	4.5%	22.7%	45.5%	27.3%	13.6%	4.5%
地区別											
中央区	51	31.4%	31.4%	17.6%	3.9%	11.8%	23.5%	52.9%	19.6%	7.8%	2.0%
東区	42	23.8%	28.6%	16.7%	7.1%	9.5%	21.4%	69.0%	35.7%	4.8%	4.8%
西区	23	17.4%	39.1%	8.7%	4.3%	13.0%	4.3%	65.2%	17.4%	8.7%	8.7%
南区	36	16.7%	36.1%	16.7%	5.6%	―	25.0%	50.0%	13.9%	13.9%	2.8%
北区	44	15.9%	38.6%	9.1%	4.5%	11.4%	15.9%	59.1%	27.3%	2.3%	6.8%

問３３．ＳＤＧｓの１７の目標のうち、大切だと思う項目は何ですか。（複数回答可）

「ゴール 3：すべての人に健康と福祉を」が 53.7%（607 人）と最も高く、次いで「ゴール 1：貧困をなくそう」が 48.8%（551 人）、「ゴール 11：住み続けられるまちづくりを」が 47.1%（532 人）となっている。

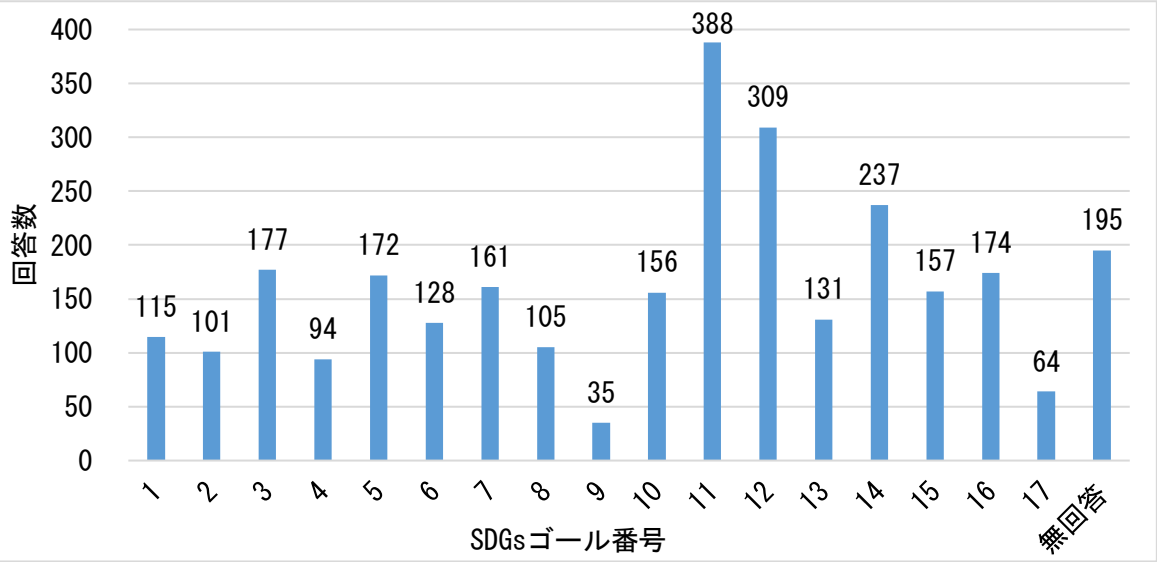


回答肢		回答数	割合	R1 順位	H30 順位
3	すべての人に健康と福祉を	607	53.7%	1	1
1	貧困をなくそう	551	48.8%	2	3
11	住み続けられるまちづくりを	532	47.1%	3	2
6	安全な水とトイレを世界中に	495	43.8%	4	4
2	飢餓をゼロに	454	40.2%	5	7
13	気候変動に具体的な対策を	431	38.1%	6	9
14	海の豊かさを守ろう	431	38.1%	7	5
16	平和と公正をすべての人に	423	37.4%	8	8
4	質の高い教育をみんなに	404	35.8%	9	6
10	人や国の不平等をなくそう	368	32.6%	10	11
8	働きがいも経済成長も	356	31.5%	11	10
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	331	29.3%	12	12
12	つくる責任つかう責任	299	26.5%	13	13
15	陸の豊かさも守ろう	284	25.1%	14	14
5	ジェンダー平等を実現しよう	245	21.7%	15	15
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	161	14.2%	16	16
17	パートナーシップで目標を達成しよう	134	11.9%	17	17

問３４．ＳＤＧｓの１７の目標のうち、あなたが貢献できると思う項目は何ですか。

（複数回答可）

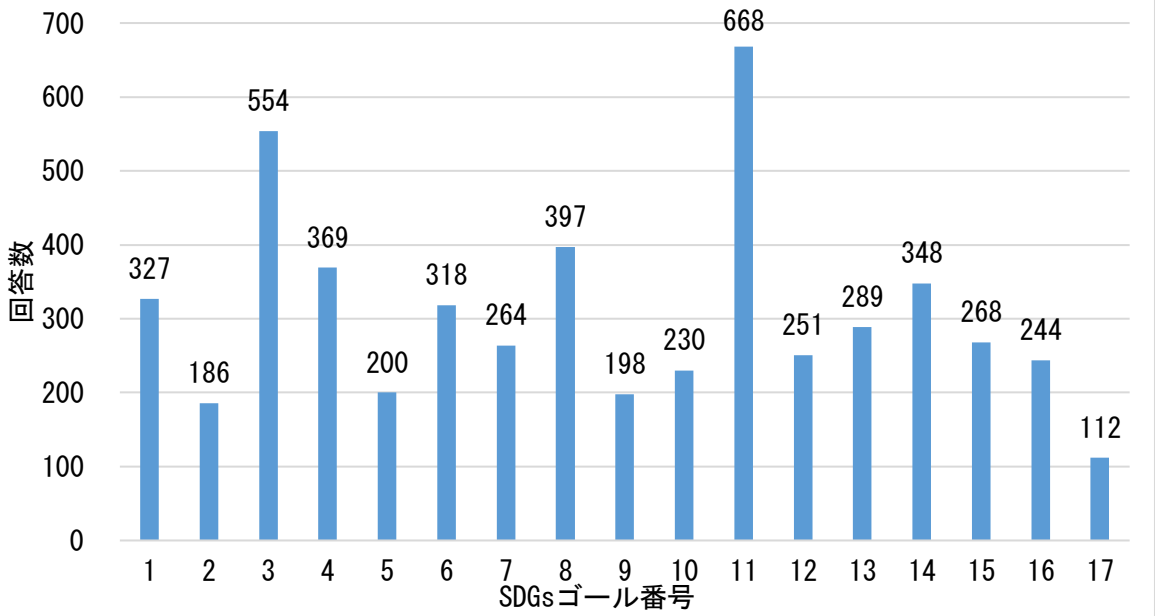
「ゴール 11：住み続けられるまちづくりを」が 34.3%（388 人）と最も高く、次いで「ゴール 12：つくる責任つかう責任」が 27.3%（309 人）、「ゴール 14：海の豊かさを守ろう」が 21.0%（237 人）となっている。なお、当該設問では無回答が目立ったため、集計に加えた結果 17.3%（195 人）となっている。



回答肢		回答数	割合	R1 順位	H30 順位
11	住み続けられるまちづくりを	388	34.3%	1	1
12	つくる責任つかう責任	309	27.3%	2	2
14	海の豊かさを守ろう	237	21.0%	3	3
―	無回答	195	17.3%	4	-
3	すべての人に健康と福祉を	177	15.7%	5	4
16	平和と公正をすべての人に	174	15.4%	6	8
5	ジェンダー平等を実現しよう	172	15.2%	7	5
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	161	14.2%	8	7
15	陸の豊かさも守ろう	157	13.9%	9	6
10	人や国の不平等をなくそう	156	13.8%	10	10
13	気候変動に具体的な対策を	131	11.6%	11	13
6	安全な水とトイレを世界中に	128	11.3%	12	9
1	貧困をなくそう	115	10.2%	13	11
8	働きがいも経済成長も	105	9.3%	14	12
2	飢餓をゼロに	101	8.9%	15	14
4	質の高い教育をみんなに	94	8.3%	16	15
17	パートナーシップで目標を達成しよう	64	5.7%	17	16
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	35	3.1%	18	17

問３５．ＳＤＧｓの１７の目標のうち、熊本市として取り組むべきだと思う項目は何ですか。（複数回答可）

「ゴール 11：住み続けられるまちづくりを」が 59.1%（668 人）と最も高く、次いで「ゴール 3：すべての人に健康と福祉を」が 49.0%（554 人）、「ゴール 8：働きがいも経済成長も」が 35.1%（397 人）となっている。



回答肢		回答数	割合	R1 順位	H30 順位
11	住み続けられるまちづくりを	668	59.1%	1	1
3	すべての人に健康と福祉を	554	49.0%	2	2
8	働きがいも経済成長も	397	35.1%	3	4
4	質の高い教育をみんなに	369	32.7%	4	3
14	海の豊かさを守ろう	348	30.8%	5	7
1	貧困をなくそう	327	28.9%	6	5
6	安全な水とトイレを世界中に	318	28.1%	7	6
13	気候変動に具体的な対策を	289	25.6%	8	10
15	陸の豊かさも守ろう	268	23.7%	9	9
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	264	23.4%	10	8
12	つくる責任つかう責任	251	22.2%	11	12
16	平和と公正をすべての人に	244	21.6%	12	11
10	人や国の不平等をなくそう	230	20.4%	13	13
5	ジェンダー平等を実現しよう	200	17.7%	14	16
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	198	17.5%	15	15
2	飢餓をゼロに	186	16.5%	16	14
17	パートナーシップで目標を達成しよう	112	9.9%	17	17
11	住み続けられるまちづくりを	668	59.1%	1	1

問３６．ＳＤＧｓに関して、ご提言、ご意見がございましたらお聞かせください。

■いただいた意見をそのまま以下に列挙する。

理想としては 17 項目すべてを目標にしたらいいのかと思いますが、よく理解できないこともありました。
目標掲示が先行して具体的な部分は見えづらい。社会が複雑すぎて選択に苦慮する。もっとシンプルな生き方を意識したい。
目標が大きいと感じる
聞こえのいい目標は簡単に立てられます。一つ一つの項目が矛盾している感もあるので、まずは熊本市議会がジェンダー平等のお勉強をされるのが良いのではないでしょうか。
幅が広すぎるのでいくつかに絞って対策内容、実施内容、効果などを定点観測できる仕組みがあると良い。
貧困者を少なくすること。経済発展のトレードオフの関係を両立する取組を進める。
貧困をなくしてみな平等に暮らしたいと思う
範囲も広いし理想が大きくて何から始めればいいのか分からない。とりあえず熊本市のためになることからして欲しい。
内容があまり理解できておりませんのでこれから学習したいと思います。
同封の解説で初めて勉強しました。
中々個人的な行動では限りがあると思うので、市や県がリーダーシップをとりやっていくことが必要かと思います。
知らなかったので勉強してみたいと思った。
知らない人も多いと思うので、もう少し PR した方がいいと思います。
全て叶えるとしたら理想的ですごいことだと思います。少しでも近づけるならとても素晴らしいです。個人個人が意識を高めることが大切だと思います。
全てを 2030 年までに達成するのは難しいのでは。大きく広がっていて実感がわかない。
全ての人に・・・ということはなかなかできないだろうが、まず各個人がしっかりと自分自身で取り組むところからでいいと思う
全ての計画を SDGs を基準に計画し市民に周知すると分かりやすいと思う。
戦争をしている国の人は子どもから武器を持っているので、互いに正邪もなく争っていると思う。
数が多すぎる感があるので、もう少し簡素化してほしい。
真に取り組み、実行しようとすると費用が掛かる。費用の補助制度の確立を展開してほしい。
新しい言葉が増える一方でついていけない。わかりにくい。自分の生活とのかかわりが身近に感じられない。
少し勉強になりました。
少しでもできることから始めることが大切だと思う
小中学校の教育の中で取り組んでほしい。

初めて聞いた言葉でした。ネットで調べて理解しました。 奥が深い、世界を視野に入れた活動と理解しました。 活動の基本は、それを周りに知らしめることだと思っています。 テレビコマーシャルやインターネット等で、それに関する情報を流し続けることも必要かと思います。もし既にやっているとしたら、私はそれを知らないわけで、ということは周知活動がそれほど高くないということだろうと思います。
実現できればいいと思う
自分の身になって物事を考えたい。私には関係ないと思わないように一人ひとりに関心を持ってもらうことが必要だと思う。
自治体と国の目標項目を絞ってほしい。
持続的かつ事業に即し収益性のあるものでなくては意味がないので、自治体が個別でできる事はない。アピールで判断するのではなく、本質的なチェックと、それに対する予算を。
市民団体が取り組んでいる貧困対策や学習支援などを市の委託事業として実施するための予算措置を講じてほしい。
市電で部落差別をなくそうというのをもう何回も聞いている気がするので、「人や国の不平等をなくそう」は積極的に取り組んだ方が良いと思う。
最初聞いた時はあまりにも数が多いしハイレベルで難しく思いましたが、企業の勉強会で自分ができる身近なこともありますと言われ、具体例を挙げてもらいました。市民に浸透して分かってもらうには、具体例を言わないと「無理」と拒絶されると思います。
最初は何？と思いましたが、大切なことだと思った。小さい子供たちも興味を持ってくれると良いと思う。
最近テレビ等でよく目にするようになりどういうものか少し関心が出ていたところでした。具体的なことについてはほとんど情報がなく、項目がかなり多いのでなかなか個々について理解するのに時間がかかりそうです。
今後とも継続した広報活動及び取組み実績のアピールが必要！！
今回のアンケートでこの言葉を聞き学びました。もっと市民が知るべきだと思います。広報宣伝活動をもっと行うべきだと思う。
今まで全然気づかなかったが、今回のアンケートをきっかけに新聞などで結構取り上げられていることに気付いた。SDGs は多方面に渡っていて個人レベルでは何をしたらいいのかわからなくなった。
今の子ども達が今後、熊本市民として全員が本領発揮できるよう環境を整えることが私たちの義務だと思う。
項目が多すぎると思う
広く情報提供をしてください。
幸福に対する考えは個人はもとより国によっても異なります。人々が暮らすうえで最も大切な「自然を守る」を中心として教育によって各人が「自分の幸せ」を守る意識をもてば、それでよいと感じます。申し訳ありませんが、すべてのゴールが普遍的とは思えませんでした。
個人が自分の事のように考えて、意識を持って、生活する事ではないかと思う。

個人が意識して SDGs の目標に少しでも近づけるよう小さいときからの教育が大切だと思います。
現実的に実行して結果が出そうなものだけに絞ってイベントで楽しみながら参加できたら達成できることもあるかもしれない。
熊本市が取り組んでいることを知りませんでした。もっとメディア等を使ってアピールすることが大切だと思います。
熊本市が国から SDGs 未来都市に選定されたということをいろんな広報メディアを通じてもっともっと告知すべきです。個人個人がアクションを起こしたいものです。
熊本は他県と比べ緑も多く恵まれていると思います。その環境をいかに守っていくかが課題だと思います。水も大切に使いたいです。
熊本の人はまだ「男だから、女だから」と言っている人が多いように思う。男女の平等、特に仕事などで女性を大切にしてもらいたい。市議会はもっと女性が多くてもいいのではないか。
具体的なことが分かればよいと思う。
教育に力を入れて世界で起こっていることに問題意識をもって自分たちでどうしたらいいかを考える子どもを育ててほしい。大人ももっとしっかり考えないといけないと思います。
各自治体の長のマニフェストとして、優先順位を掲げて、それを一つの指針とする。そして、毎年、自治体の長の自己評価と、市民の客観的評価をつける。 世界会議など、世界的に取組むことは、実は一人ひとりの平和な日常を継続することなのを、みんなが気付き、実行することではないでしょうか。
各テーマが大きすぎる（中身が広すぎる）
回覧板で色んな活動や情報をいただければ年とともに世間から疎くなるのを防げるかもしれません。高齢者も一緒に参加し役立てるような市を作ってください。
一般の人には具体的でないと取り組みにくい。
一人ひとりが本気で取り組みたいし、みんなも取り組んでほしいと思った。
一人ひとりが意識を高め合ってそれを継続していけるパートナーシップが我々国民一人ひとりに係っていると思うので、日頃からの呼びかけなどして取り入れていきたいです。
一人ひとりができることを心がけて生活することが重要だと思う。
安心して老後を生きられる世の中であってほしい
よく知らないので情報宣伝が必要ではないか
もっと周知が必要だと思います。
もっとわかりやすい説明がほしい
もっとこういうことをしていますと発信してくれたら、みんなわかるので、ありがたい。
バッジを配るもしくは販売する
ネットに出ている SDGs に関する 原文（英文）を精読したい契機になった。
どれも大変重要なこと、取り組む必要があると思いますが、年金生活者からすると毎日の生活と自分の健康を維持することで精いっぱいです。

どれも具体的に自分がどう貢献できるのか分からない。SDGs を耳にしたことが無かったです。日々、貢献できることに取り組んでみたい。
どの目標にしても自分たちにできることはたくさんあると思うので、市を中心にもっと普及させ、まずは多くの市民に意識させるところから始めていくと良いと思う。研修会も回数を増やしたり、定期的に行ったり、（2030SDGs カードゲームの）ファシリテーターを増やしていくと良いのではと思います。
できることから始めることが重要だと思う
できることから具体的に実行することが必要だと思った
そもそも個人の意識の問題。行政がかかわるなら、罰則や法制化とかすればよいのでは。
すべての年代の人にわかりやすい言い方はないのでしょうか。最近はいろいろなものの表現や情報発信において日本語表記が少なくわかりづらい。
ジェンダーが外国と違いタブーになっている。外国に比べるとまだまだだと思う。
さらなる広報活動が必要。
これらの概念が実現するか否か、全て世界中の為政者の実行力に委ねられています。何かと選挙の票目的にスローガンをゆがめて生きる人間。自己利益のために国連スローガンを踏み倒して生きる人間。漁具に絡まって息絶えた亀の姿は人間に何を訴えているのでしょうか。人間は横に手をつなぎ地球は人間だけのものではないことを熊本市も発信するべきです。
これからの社会生活においては 17 の目標すべてが必要なものであり理想であると思います。ただ一個人としては遠くで見ている自分がいるという感じがしてしまう。とにかく何か小さなことでも自身で実行できるようなことがあればいいと思います。
このアンケート調査で SDGs を初めて知った。
このアンケートを見るまで SDGs を知りませんでした。TVCM や新聞、広報誌などにこのテーマを特集してほしい。ボトムアップ、トップダウンどちらでもどう取り組むとよいのか例を教えてほしい。
このアンケートをもらったことでより関心を持つことができた。一市民にできることは限られているがまずは身の回りから取り組んでいこうと思います。SDGs のロゴはカラフルで目に留まりやすいと思うので、ポスターとして人の集まる場所に掲示したり、メディアを活用するなどしてもっと周知してほしいと思います。
ゴール 13 は目標自体がわからなかった。別紙の 4 ページを見てもよくわからなかった。
クールチョイス（温暖化対策）とか SDGs 他知らない言葉が出てきて自分の知識のなさにがっかり！17 の目標の”日”を作る。その日に 1 分ほどの話題をローカルニュースでやると良いと思う。
カラフルで目に付きやすく印象に残っています。内容が分かりにくいところが残念ですが、アンケートの説明文により少しわかってきました。
あまり浸透できていない気がするのでもっと広まればいいと思う。皆が興味を引く、また関心を示してもらうためにイベントの開催を希望します。
あまり詳しくわからないが心がけを自分なりにしたらよいと感じた

あまりにも大枠な事柄なのでピンと来ない。熊本に必要と思われる項目を掘り下げて明確な「熊本バージョン」を作るべきだと思う。
SDGs を知らないので目や耳に届く機会が増えればいいなと思います。
SDGs は高齢者にはむつかしい
SDGs は皆が向かう目標が同じなので、企業や学校や自治体が同じビジョンをもって目標達成に取り組むための組織や体制が必要だと思います。
SDGs はずっと気になっていたのですが、後回しになっており、リーフレット（同封の解説）のおかげで勉強しようと思いました。アンケートに選ばれとてもいい機会をいただきました。ありがとうございました。わたしも目標を決めて少しずつ取り組みたいという思いになりました。でも何をしたらいいのでしょうか？
SDGs にどこまで自分が貢献できるのか難しいと感じている。
SDGs について情報発信してほしいです
SDGs なる言葉はこのアンケートで初めて知った。クールチョイスやゼッチなど不可解な横文字は使うべきでないし、ほとんどの市民が理解していないのではないか？もっと平易でわかりやすい言葉で説明願いたい。
SDGs という言葉だけで中身が見えない。具体的な問題提起とそれに対する取り組み方、一人ひとりのかかわり方を示していかないとただのタイトルで終わると思います。本当に取り組むなら情報開示、達成率等を示していく必要があると思います。
SDGs＝環境問題といった偏見をなくして欲しい。
CM でも野球選手がされていますが、もっと学生にも知ってもらいたい
17 項目すべてに取り組むことは難しいと思います。安心・安全に生活していくためにはすべてが大切だと思いますが。自分でやれるところは日々の生活の中でコツコツと取り組んでいきたいと思います。
1～17 の項目は互いに関連している部分も多く、個人でできる部分は限られてくると思われて大変難しい課題ばかりです。国や地方の行政のあり方、予算の使い方等を含めて個人がどのようにかかわりを持っていくべきか指針らしきものが示されればと思います。
「地産地消」で熊本県全体を活気づけましょう！！メイドインジャパン、メイドインキュウシュウ、メイドインクマモトを目指して皆で盛り上げ、皆で消費していけば明るい社会が訪れるような気がします。